



あ い さ つ

大会名誉会長

厚生労働大臣 加 藤 勝 信

「ねんりんを 重ねた^{えがお}愛顔 伊予に咲く」をテーマとした「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック^{えがお}愛顔のえひめ2023）」の開催を心からお慶び申し上げます。

我が国は、超高齢化社会を迎えており、今後は「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へと局面が変化するものと見込まれています。

こうした中、支える側と支えられる側の二極化ではなく、全ての世代の方々が互いに支え合う「地域共生社会」の実現が重要となっており、厚生労働省では、高齢者の社会参加や介護予防、認知症施策の推進等に取り組んでおります。

本大会は、スポーツや健康・文化・福祉イベントを通じて、高齢者に活躍いただき、幅広い世代間での交流を深めるとともに、参加者の心身の健康維持・増進を図ることを目的としており、高齢者が元気に活躍し続けられる社会づくりに寄与する、大変意義深い大会です。また、多くの高齢者がいきいきと活動されている姿を全国に知っていただく絶好の機会であると考えております。

本年の大会は、愛媛県内全20市町で各種のスポーツ・文化交流大会が行われます。また、高齢者が培ってきた豊かな経験・知識・技術を披露する「地域文化伝承館」や、県内の特産品・ご当地グルメなど愛媛の魅力を発信する「ふれあい広場」など、さまざまな催しも予定されています。

えひめ大会は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となってから初めて開催される大会です。

御参加いただく皆様におかれましては、体調管理に御留意いただきながらも、日頃の練習や活動の成果を遺憾なく発揮していただき、世代を超えた皆様の「^{えがお}愛顔」で満開の大会となるよう心より願っております。

最後となりましたが、本大会の開催に御尽力いただいた愛媛県と開催市町をはじめとする関係者の皆さまに対して厚く御礼を申し上げ、私の挨拶といたします。



あ い さ つ

大会名誉会長

一般財団法人 長寿社会開発センター

理事長 高 井 康 行

全国各地から多くの皆様のご参加を得て、第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛^{えが}顔のえひめ2023）が開催の運びとなりましたこと、厚く御礼申し上げます。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、スポーツ、文化、福祉などの多彩な事業を通じて高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、高齢者をはじめとする各世代間の交流の促進や高齢者の社会参加を図り、豊かでふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進することを目的として官民一体となつて行われる国民的祭典であります。

今年は「ねんりんを 重ねた愛^{えが}顔 伊予に咲く」のテーマのもと、瀬戸内の美しい海と緑の島々、豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、多彩な歴史や文化に育まれた「伊予の国」愛媛県を舞台に様々なイベントが盛大に繰り広げられます。本大会では、県内全20市町で開かれる29種目の交流大会で新たにバドミントン競技が取り入れられるとともに、鹿児島大会以来15年ぶりとなるサイクリング競技が開催されます。

参加される皆様方におかれましては、これらのイベントを通じて日頃の練習や活動の成果、培ってこられた経験と知恵をいかんなく発揮していただくとともに、本大会が、全国から参加される選手同士、そして地域の皆様やボランティアの方々とのふれあいと交流を深める場となり、それぞれの皆様が心からの「愛^{えが}顔」の花を咲かせ、愛媛県の魅力を全国に広く発信する絶好の機会となることを期待しております。

結びに、本大会の開催に多大なるご尽力をいただきました大会関係者の皆様、並びに全国からの選手団を温かく迎えて下さる愛媛県、開催市町の方々をはじめ、大会の運営を支えてくださるボランティアの皆様にご心から感謝申し上げますとともに、参加される皆様方の今後のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



あ い さ つ

大会名誉副会長

スポーツ庁長官 室 伏 広 治

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔^{えがお}のえひめ2023）が、豊かな自然と多彩な文化・産業を有する愛媛県で盛大に開催されますことを誠に喜ばしく存じます。

「人生100歳時代」を、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、スポーツが重要な役割を担っています。スポーツには、心身の健康を保持・増進し、人生を生き生きと豊かに充実させ、人と人、地域と地域の交流を促進し、活力に満ちた長寿社会を実現させる大きな力があります。このため、スポーツ庁では、第3期スポーツ基本計画の下、一人でも多くの方が生活習慣の中でスポーツに親しみ、喜びを感じ、一人一人の人生や社会が豊かになる「Sport in Life」の実現に向けた取組を推進しております。

本大会は、第72回国民体育大会愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体・第17回全国障害者スポーツ大会愛顔^{えがお}つなぐえひめ大会のレガシーを継承し、生涯スポーツの推進などにつなげることが目標として掲げられており、様々な活動を通して誰もが交流の喜びやスポーツの力を実感できる大変意義深いものと考えております。

全国各地から参加される皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されるとともに、本大会のテーマ「ねんりんを重ねた愛顔^{えがお}伊予に咲く」のとおり、多くの方々と健康長寿のすばらしさを確かめ合い、スポーツや文化活動を通じた「愛顔^{えがお}」の輪を広めていただくことを期待しております。

結びに、本大会の開催に当たり、愛媛県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御尽力に対し、心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念いたしまして、挨拶いたします。



あいさつ

大会会長

愛媛県知事 中村 時 広

全国各地から多くの皆様をお迎えし、「第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛媛のえひめ2023）」を愛媛県で開催できますことは大きな喜びであり、県民を代表しまして、皆様の御来県を心から歓迎申し上げます。

さて、本県では、高齢者の方々が生きがいを持って、より充実した人生を過ごしていただけるよう、運動や食生活を意識した健康づくりを奨励するとともに、仕事・社会活動を通じて活躍を続けていける環境整備に取り組むなど、「住み慣れた地域で、安心して、自分らしく、愛媛で暮らせる共生社会」の実現に向けた施策を展開しています。

こうした中、本大会が「ねんりんを 重ねた愛媛 伊予に咲く」のテーマの下、初めて正式種目として採用されたバドミントンや、「サイクリングパラダイス」の強みを生かしたサイクリング、野球王国愛媛ゆかりの軟式野球など、29種目の交流大会を県内全20市町で開催できますことを、誠に意義深く感じております。

参加される皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、本県が誇る県民一丸となったおもてなしを感じられながら、世代をこえた多くの方々との交流・ふれあいを楽しんでいただくことで、本大会がいつまでも記憶に残るすばらしい大会となることを心から願っています。

愛媛県は、西日本最高峰の石鎚山、「東洋のエーゲ海」と称される瀬戸内海、リアス海岸が続く宇和海など、美しい自然に恵まれているほか、東予・中予・南予の大きく三つに区分される地域では、それぞれ特色ある産業が栄えております。また、県名は、古事記に登場する女神「愛比売」を名の由来としており、俳人・正岡子規をはじめとする多くの文化人を輩出し、地域ごとに特色のあるお祭りや、四国遍路などの豊かな文化も息づいています。

御来県の皆様には、本県の自然や歴史、文化にふれられますとともに、海の幸、山の幸を堪能され、愛媛の魅力を存分に感じていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催に向け、多くの御支援と御協力を賜りました関係者の方々に心から感謝申し上げます。



歓迎のことば

愛媛県議会議員 高山 康人

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔^{えがお}のえひめ2023）が、ここ愛媛県において盛大に開催されるにあたり、愛媛県議会を代表いたしまして、歓迎の御挨拶を申し上げます。

全国各地からお越しいただきました多くの選手、役員並びに関係者の皆様、ようこそ愛媛県へ。心から歓迎いたします。

さて、我が国は、健康寿命が世界トップクラスの長寿社会を迎えており、人生100年時代を充実したものとするためには、高齢者はもとより、すべての国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいつくりなど、ふれあいと活力のある社会を構築するための取組みが求められております。

こうした中、本県では、「ねんりんを 重ねた愛顔^{えがお} 伊予に咲く」という大会テーマのもと、参加される全ての人々が健康長寿を実感することができ、つながりが育まれ、いつまでも記憶に残る大会となるよう、官民一体となりオール愛媛体制で準備を進めてまいりました。

スポーツや文化活動を楽しむことは、地域や世代を超えて交流の輪を広げ、あらゆる人々がお互いを認め合い、絆を深めることにつながります。本大会を通じて、世代間交流やふれあいが深まり、「愛顔^{えがお}」が広がる地域共生社会の実現につながることを願っています。

ここ愛媛県は、多島美の瀬戸内海とリアス式海岸の宇和海、また、西日本最高峰の石鎚山などの豊かな自然のもと、海の幸、山の幸を活かした食文化に恵まれておりますとともに、四国八十八箇所のお遍路さんに代表されるお接待の心が広く根付いております。皆様には、愛媛の魅力を十分に御堪能いただき、心に残る大会としていただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にあたり、格別の御尽力を賜りました多くの皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功と皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を祈念申し上げます。歓迎のことばといたします。

ねんりんピック テーマソング

「明日へとつづく道」

作詞：結城恵助 作曲：白鳥澄夫
編曲：渡辺雅二 歌：白鳥英美子

木の葉の滴 朝に輝き
時を流れ 川にそそぐ
川は流れ 空を映し
大河となって 海へとつづく
両手をかざし 仰ぐ空に
あふれる陽射し ときめきの日々
人はだれも 旅の途中
今日をたしかめ 明日へとつづく

ねんりんピック 愛顔のえひめ2023 大会テーマソング

「よーいドン！ダンス」

作詞・作曲・編曲 SASUKE
歌唱 中川 奈美

朝日がこの町を照らす
つられて体が（ワクワク）
動きだした（パッパッパ）
今すぐ会いに行きましょう ハロー！
この広い大地で君と唄を歌おう！

手を挙げたり回したり（ブンブン）
足でもステップ自由にタップ（タップ！）
身も心も魔法みたいにキラリラン！
（ウキウキ）

嬉しい気分を歌おう
どこまでも届け（おーい！）
ちょっとイイ汗かいたら
一休みね！ブレイクタイム

ほほ笑む花に 語る午後に
歩みをとめて 想う月日
ふりかえれば わたしの道
刻む時の 旅の途中
歌おう命 生きる誇り
わたしは今 ここにいます
人はだれも 旅の途中
今日をたしかめ 明日へとつづく

歌おう命 生きる誇り
わたしは今 ここにいます
人はだれも 旅の途中
今日をたしかめ 明日へとつづく

まだまだもっといける！ほら！
ボールの軌道が道標 さあ行こう（行こう！）

手は抜きません！勝負には（メラメラ）
試合大詰め 腕が鳴る（キラン）
楽しむからこそ本気
わかるでしょう？（ドキドキ）

嬉しい気分を歌おう
どこまでも届け（おーい！）
ちょっとイイ汗かいたら
一休みね！ブレイクタイム

楽しい日にしよう今日も
明日も続け（おーい！）
いつまでも元気になれる
呪文はよーいドン！&ダンス
嬉しい気分を歌おう
どこまでも届け（おーい！）
ちょっとイイ汗かいたら
一休みね！ブレイクタイム

次もよーいドン！&ダンス！